

草津市自立支援協議会 部会・プロジェクト活動報告

| | | | |
|--|---|------------------|-------|
| 部会・PJ名 | 草津市相談支援体制検討プロジェクト会議 | 報告者 | 河尻 朋和 |
| 部会長 | 園田実乗 プロジェクトリーダー | | |
| 副部会長 | 河尻朋和 副プロジェクトリーダー | | |
| 委員 | (敬称略) 園田 実乗 (NPO 法人草津市心身障害児者連絡協議会 理事長)、河尻 朋和 (滋賀障害者雇用支援センター：就労支援機関の代表)、黒木 稔 (地域生活支援センター風：託相談支援事業所の代表)、大橋 栄志 (社会福祉法人若竹会：障害者支援施設の代表)、大平 眞太郎 (滋賀県障害者自立支援協議会)、中村 順子 (おひさまハウス：相談支援事業所の代表 (児童))、倉田 朋良 (草津市発達支援センター：相談支援事業所の代表 (児童))、木野 巧也 (障害福祉課 相談支援係)、國松 優一 (障害福祉課 障害福祉係)、小枝 昭彦 (草津市障害者福祉センター) | | |
| 事務局 | 涌井 康貴 (草津市立障害者福祉センター、寺嶋 博子 (基幹相談支援コーディネーター)) | | |
| 活動報告 | | | |
| 今年度のねらい | 令和2年に検討を行った結果に基づいて令和3年度も引き続き、草津市の相談支援体制のあるべき姿について検討した結果をまとめ、自立支援協議会、草津市に報告する。 | | |
| 回数 | 開催日時 | 参加数 | |
| 第3回 | 令和3年12月21日(火) 13時30分～15時30分 | 機関数：9 機関 参加数 12人 | |
| <p>【テーマ】草津市障害者相談支援事業報告書(第3次案)の検討</p> <p>【会場】草津市立障害者福祉センター</p> <p>【内容】草津市障害者相談支援事業報告書(第3次案)骨子</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 相談支援の経過と本プロジェクトについて <ol style="list-style-type: none"> (1) 相談支援事業の経過 (2) 草津市の障害者相談支援体制の概要 ①計画相談支援事業 ②委託相談支援事業 ③基幹相談支援センター (3) プロジェクトの設置 2. 草津市の相談支援体制の現状と課題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 計画相談支援(障害児相談支援は除く) (2) 委託相談 (3) 基幹相談支援センターと自立支援協議会 (4) 障害児相談、一般相談(地域移行・地域定着)について 3. 相談支援体制の充実に向けて <ol style="list-style-type: none"> (1) 相談支援の重要性の再確認(具体的提案) (2) 計画相談の拡充に向けた取り組み(具体的提案) | | | |

(3) 委託相談の充実に向けた取り組み（具体的な提案）

(4) 基幹相談支援センターの早期設置、人材育成・ソーシャルワークの充実（具体的な提案）

4. 終わりに

【協議の概要】

○委託相談（障害者相談支援事業）の現状

委託相談の業務内容・実績の視覚化を図りたいが、業務範囲が広く、明確な基準があるわけではないため、視覚化することが困難である。しかし、相談支援体制を整理していくためには一定の整理が必要。

障害児相談については、分野が多岐に横断するため今回のプロジェクトとは別の機会を設けて丁寧に現状把握・課題整理をしていく必要がある、その内容を報告書に明記する。

○計画相談を利用する対象者と必要な相談員の確保

相談支援専門員の必要人数が誤った捉え方をされないように視覚化して報告書に盛り込んでいく。

○自立支援協議会の活性化と基幹相談支援センターの早期設置

3重の重層的な相談支援体制の充実のためには基幹相談支援センターの早期設置もあるが自立支援協議会の充実が大事であることを明記する。

○報告書の完成について

今回の会議結果を踏まえ再度事務局で報告書案の補正を行い、再度、プロジェクトメンバーでチェック。完成した報告書については、自立支援協議会運営会議に提出、その後定例会等でも報告をしていく予定。